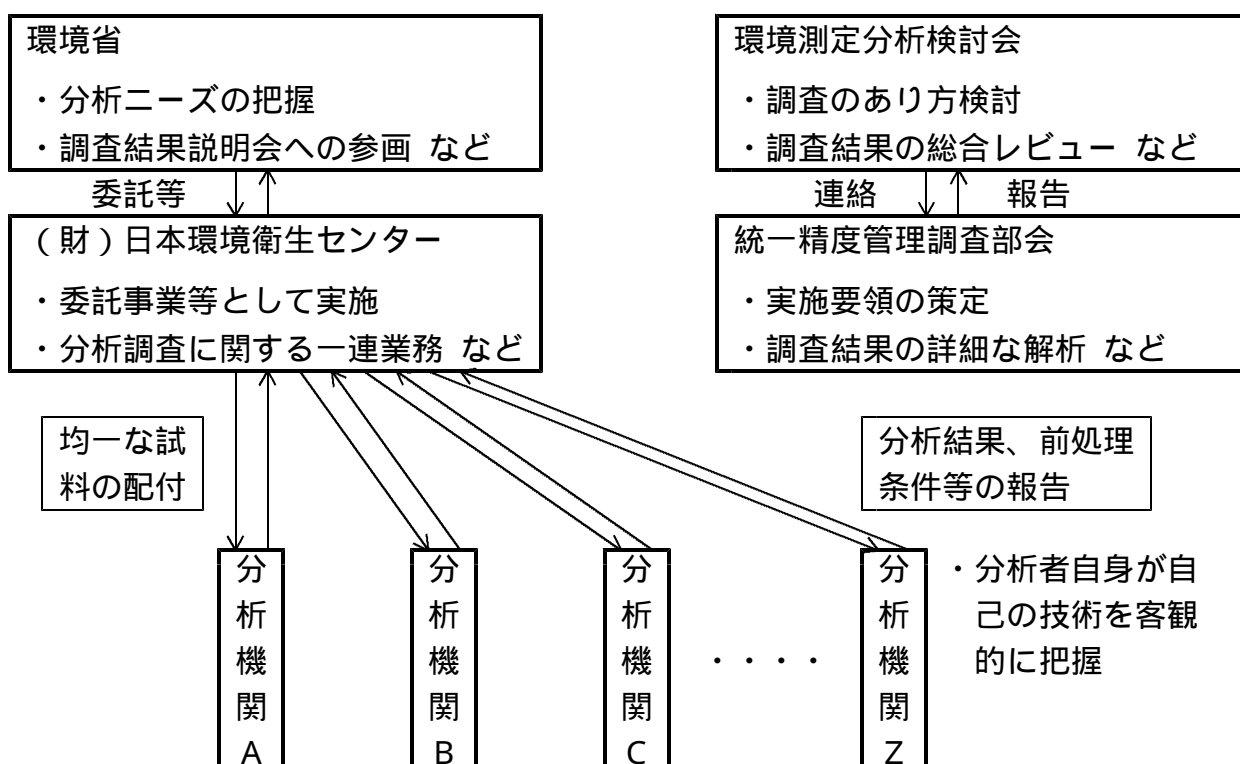


環境測定分析統一精度管理調査とは

環境省が昭和50年度から行っている調査であり、環境測定分析に従事する諸機関が、推奨された方法等により均一に調製された環境試料を分析し、それにより得られた結果を解析、検討することにより、環境測定分析の信頼性の確保及び精度の向上等を図るものである。なお、本調査の趣旨は上記のとおりであり、各分析機関から提出された測定データをもとに、各分析機関の評価、格付け等を行うための調査ではない。

平成14年度においては、重金属を調査項目とした土壌試料、内分泌攪乱作用が疑われる物質及び揮発性有機化合物を調査項目とした模擬水質試料、揮発性有機化合物を調査項目とした模擬大気試料、並びにダイオキシン類を調査項目としたばいじん試料を対象として精度管理調査を行った。その後、地方公共団体と民間の分析機関から得られた回答結果については、環境測定分析検討会等（参考2参照）において解析・検討し、その結果を取りまとめている。



環境測定分析統一精度管理調査の実施イメージ